

葦中だより

9月 葉

令和6年9月25日発行

I 学期末学校評価アンケートの結果から

I 学期末学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。 (単位：%)

評価項目 (A~Dの4段階で回答)		全体	全体	1年	2年	3年
		生徒	保護者	生徒	生徒	生徒
① 自ら考え、判断・決定し、行動した	A+B	91.7	83.9	86.1	91.1	97.6
	A	33.1	24.6	27.9	28.9	41.3
② 学校が楽しい	A+B	84.6	92.8	82.8	81.1	88.9
	A	48.5	63.2	49.2	44.4	50.8
③ 信頼できる友達がいる	A+B	92.3	91.1	90.2	91.1	95.2
	A	71.9	51.8	73.8	67.8	73.0
④ 仲間と関わり、高め合いながら授業に取り組んでいる	A+B	88.5	67.8	90.1	81.1	92.1
	A	44.1	22.1	43.4	36.7	50.0
⑤ 家庭学習の習慣が身についている	A+B	60.0	51.5	58.2	53.3	66.2
	A	20.1	15.4	20.5	20.0	19.7
⑥ 悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる	A+B	85.5	80.3	79.5	88.9	88.9
	A	46.7	25.7	50.8	42.2	46.0
⑦ 自ら進んであいさつをすることができる	A+B	84.3	81.4	79.5	81.1	91.3
	A	47.9	32.5	48.4	37.8	54.8

上の表のとおり7つの項目の多くは、「A と思う+B やや と思う」の肯定的評価が生徒・保護者ともに8割を超えました。特に、③「信頼できる友達」については、9割を超え、仲間と協力したり、切磋琢磨したりして充実した学校生活を送っていることがわかります。学年別にみると、目標が持ちやすく学校の最上級生でもある3年生は概ねどの項目でも高い評価となっています。

その中で、⑤「家庭学習の習慣」については、肯定的評価が生徒では6割、保護者では5割程度であり、改善すべき課題です。自らの状況を振り返り、工夫し粘り強く学習に取り組む習慣は、学習面の自立であり、人生を豊かにするために大切なものです。やり方は一人一人異なりますが、それぞれにあった主体的な学習方法を確立する必要があります。そのため、これまでも授業での課題や振り返り、学級通信での勉強方法の紹介、定期テスト前のテスト予想問題等の取組を行っています。どうすれば自ら机に向かい主体的に学習できるのか、今後も学習指導部を中心に検討し工夫を続けていきます。

次に、⑦「自ら進んであいさつ」については、生徒の肯定的評価は8割を超えておりますが、昨年度に比べ、減少が大きかった項目です。(昨年度90.8%) あいさつは、人の温かいつながりをつくる第一歩です。また、あいさつだけでなく「ありがとう」と感謝を伝えることや、「はい」「いいえ」という意思表示、健康状態や自分の状況・思いなどを相手にしっかり伝えることは、これから社会に出て行く生徒たちにとって大切なことです。進んであいさつでき、自然にお礼ができる明るい学校をつくっていききたいと思っております。

記述アンケート ～「重中をより良い学校にしていくためのアイデアやご意見」より～

40ほどのアイデアやご意見をいただきました。その主な内訳は、「ノー制服Day」や多様性を意識した取組への賛同、制服リサイクルへの感謝、授業参観時の授業への評価等が約10、学力補充や家庭学習についてのご意見が約10、学校生活や登下校での生徒のあらわれについてのご意見が約10、学校の教育課程や行事の日程・欠席連絡等に関するご意見が約5でした。ご意見が多かったものを中心に以下に記載します。なお、アンケートという性質のため、全てにお答えができないこと、個別の案件については記載することができないことをご了承ください。お困りのこと等あれば、まず、担任・学年主任等に遠慮なくご相談ください。



(1) 学力補充や家庭学習について

「教科によってワークがなくテスト勉強に困った」「宿題を増やしてほしい」→情報端末の活用力向上、ワークの内容や価格等も踏まえ、年度当初に各教科部会でどの教材を利用するか協議しています。

「部活動のない日に、自習室を提供してほしい」→3年生からの希望もあり、部活動のない3年生で、まず実施していきます。

「長期休業中の午前中だけでも学力補充等してほしい」→実施した学年の様子も踏まえ、実施すべきか検討していきます。

(2) 学校生活や登下校での生徒のあらわれについて

「授業中タブレットで授業内容と異なる画面を見ている」→都度注意します。また、生徒全体の意識の向上を目指し、生徒会や委員会を活用して、適切な使い方を考えていきます。

「スマートフォンを使用しながら登下校している」→登下校の安全を守るためにも、できる限り教員が通学路を巡回する等しています。保護者・地域の方もご協力もお願いいたします。

(3) 教育課程や行事の日程・欠席連絡等について

「完全下校よりも下校時刻を分かりやすく書いてほしい」→表記方法を工夫します。

「小中の行事が重ならないように調整してほしい」→小学校と連絡をとり、できる限り重ならないよう努めます。

「水泳の参加・不参加をメール回答にしてほしい」→実施できるよう検討します。

～9月の学校生活の様子～

9月2日オンライン朝の会



9月6日未来講座2年生



9月9日地域支援課訪問

